

II. 分担研究報告書

既存調査を用いた 18～24 歳の飲酒行動に関する記述研究

研究代表者	金城文	鳥取大学医学部准教授
研究分担者	桑原祐樹	鳥取大学医学部助教
	尾崎米厚	鳥取大学医学部教授
	樋口進	久里浜医療センター名誉院長
	真栄里仁	琉球病院副院長
研究協力者	美濃部るり子	久里浜医療センター医師
	松下幸夫	久里浜医療センター院長
	村瀬華子	北里大学医療衛生学部教授
	金弘子	鳥取大学医学部特任助教

背景：高校卒業後から 20 歳を迎えるまでの者については、健康日本 21（第三次）において対象として言及されているものの、飲酒行動の実態は把握されていない。本研究は、18～20 歳を対象に含む既存調査を用いて、18～24 歳の年齢別飲酒行動を記述することを目的に実施した。

方法：娯楽と生活習慣に関する調査（2019 年 4 月実施、18～24 歳対象、訪問面接調査）のデータを用いて本研究を実施した。本調査は、10 政令指定都市（札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市、名古屋市、大阪市、福岡市）および東京 23 区の 220 地域に居住する 18～24 歳の個人を対象とし実施された。飲酒頻度と飲酒量、一時多量飲酒に関する質問が含まれており、過去 1 年間飲酒、一時多量飲酒、リスク飲酒の割合を算出した。

結果：1,743 人を解析対象とした。18 歳、19 歳における各指標の割合は、過去 1 年飲酒 18 歳 11.1%、19 歳 23.2%、一時多量飲酒 18 歳 0.4%、19 歳 2.5%、リスク飲酒 18 歳 0.4%、19 歳 1.2%であった。

結論：一時多量飲酒、リスク飲酒は 18 歳、19 歳の飲酒者は 5%に満たない値であるが、過去 1 年飲酒は、18 歳で 10%、19 歳で 20%を超えており、高校卒業後 20 歳を超えるまでの期間に飲酒をする機会があると考えられた。高校の卒業前、大学や専門学校等各種学校の入学後、職場への入職後、といった機会に、20 歳未満での飲酒防止教育、情報提供が望まれる。

A. 研究目的

20 歳未満で飲酒を開始することは、開始時点の健康や学業成績に影響を及ぼすだけでなく、将来にわたる健康リスクを高めることが知られている[1]。日本では「健康日本 21（第三次）」において、「20 歳未満

の者の飲酒をなくす」ことが目標として掲げられ、中学生・高校生の「飲酒者の割合 0%」が具体的な目標値として設定されている。一方、高校卒業後から 20 歳を迎えるまでの者については、健康日本 21（第三次）において対象として言及されているものの、

おり、高校卒業後 20 歳を超えるまでの期間に飲酒をする機会があると考えられた。高校の卒業前、大学や専門学校等各種学校の入学後、職場への入職後、といった機会に、20 歳未満での飲酒防止教育、情報提供が望まれる。

参考文献

1. National Institute on Alcohol Abuse and Alcoholism. American Medical Association. Alcohol's Effects on Health. Get the Facts About Underage Drinking. <https://www.niaaa.nih.gov/publications/brochures-and-factsheets/underage-drinking>(最終アクセス 2025 年 5 月 15 日).
2. 厚生労働省. 国民生活基礎調査. <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21.html>(最終アクセス 2025 年 5 月 15 日).
3. 厚生労働省. 健康日本 21 (第二次) 最終評価報告書. https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28410.html (最終アクセス 2025 年 5 月 15 日).
4. Kawaida K, Yoshimoto H, Morita N, Ogai Y, Saito T. The Prevalence of Binge Drinking and Alcohol-Related Consequences and their Relationship among Japanese College Students. *Tohoku J Exp Med.* 2021;254(1):41-47. doi: 10.1620/tjem.254.41.
5. 三好美浩, 勝野眞吾, 吉本佐雅子, 鬼頭英明, 西岡伸紀. 学校から仕事への移行期における 18-22 歳の青少年の喫煙と飲酒に関連するライフスタイルの検討. *学校保健研究*, 2010, 52.1: 7-21.

F. 健康危険情報
なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
特記すべきことなし

表1. 18～24歳の性別、年齢別、各飲酒指標の割合

	男女計							男性							女性								
	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳		
参加者総数	279	241	261	249	225	222	266	148	126	135	142	109	106	114	131	115	126	107	116	116	152		
割合(%)	11.1	23.2	88.9	93.2	93.8	93.7	89.8	14.2	25.4	89.6	95.1	92.7	93.4	90.4	7.6	20.9	88.1	90.7	94.8	94	89.5		
過去1年 飲酒	95%CI (7.4, 14.8)(17.9, 28.6)(85.1, 92.7)(90.0, 96.3)(90.6, 96.9)(90.5, 96.9)(86.2, 93.5)							(8.6, 19.8)(17.8, 33.0)(84.5, 94.8)(91.5, 98.6)(87.8, 97.6)(88.7, 98.1)(84.9, 95.8)							(3.1, 12.2)(13.4, 28.3)(82.4, 93.8)(85.1, 96.2)(90.8, 98.9)(89.6, 98.3)(84.6, 94.3)								
	$\chi^2(1)^a$			631.1				$\chi^2(1)^a$			306.6				$\chi^2(1)^a$				327.1				
	p value ^a			<.001				p value ^a			<.001				p value ^a				<.001				
	p value ^b			0.082 0.406 0.693 0.171 0.501 0.862 0.815				p value ^b			0.002 0.006 0.011 0.015 0.028 0.008 0.012				p value ^b				0.002 0.006 0.011 0.015 0.028 0.008 0.012				
一時多量 飲酒	割合(%)	0.4	2.5	17.2	26.5	29.8	28.4	30.5	0.7	2.4	23	32.4	36.7	36.8	38.6	0.0	2.6	11.1	18.7	23.3	20.7	24.3	
	95%CI (0.0, 1.1) (0.5, 4.5) (12.7, 21.8)(21.0, 32.0)(23.8, 35.8)(22.4, 34.3)(24.9, 36.0)							(0.0, 2.0) (0.0, 5.0) (15.9, 30.1)(24.7, 40.1)(27.7, 45.8)(27.6, 46.0)(29.7, 47.5)							(0.0, 0.0) (0.0, 5.5) (5.6, 16.6) (11.3, 26.1)(15.6, 31.0)(13.3, 28.1)(17.5, 31.2)								
	$\chi^2(1)^a$			142.4				$\chi^2(1)^a$			99.4				$\chi^2(1)^a$				54.3				
	p value ^a			<.001				p value ^a			<.001				p value ^a				<.001				
リスク 飲酒	割合(%)	0.4	1.2	13.8	20.9	16	18.5	17.7	0.7	1.6	15.6	19	17.4	14.2	15.8	0	0.0	0.9	11.9	23.4	14.7	22.4	19.1
	95%CI (0.0, 1.1) (0.0, 2.6) (9.6, 18.0) (15.8, 25.9)(11.2, 20.8)(13.4, 23.6)(13.1, 22.2)							(0.0, 2.0) (0.0, 3.8) (9.4, 21.7) (12.6, 25.5)(10.3, 24.6) (7.5, 20.8) (9.1, 22.5)							(0.0, 0.0) (0.0, 2.6) (6.2, 17.6) (15.3, 31.4) (8.2, 21.1) (14.8, 30.0)(12.8, 25.3)								
	$\chi^2(1)^a$			66.1				$\chi^2(1)^a$			24.8				$\chi^2(1)^a$				41.1				
	p value ^a			<.001				p value ^a			<.001				p value ^a				<.001				
p value ^b			0.346 0.616 0.393 0.403 0.570 0.113 0.486				p value ^b			0.346 0.616 0.393 0.403 0.570 0.113 0.486				p value ^b				0.346 0.616 0.393 0.403 0.570 0.113 0.486					

a: $\chi^2(1)$ 、p valueはコクラン・アーミテージ傾向検定の結果を示した。

b: 各年齢における、男女の割合の差の検定 (χ^2 検定またはFisherの正確確率検定) の結果を示した。

95%CI=95% confidence interval